

## ● 日本の主な火山活動

御嶽山の火山活動は低下してきており、2014 年 9 月 27 日と同程度、またはそれを上回る規模の噴火が発生する可能性は低くなっている。一方、火口列からの噴煙活動や地震活動が継続していることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性がある。新たな火口列の中心から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石と火砕流に警戒が必要である。これに加えて南西側（地獄谷方向）では火口から概ね 2.5 km まで火砕流に警戒が必要である。

桜島では、爆発的噴火が 112 回発生するなど活発な噴火活動が継続した。火山性地震は、3 月 31 日から 4 月 2 日にかけて一時的にやや増加した。桜島島内の伸縮計では、1 月 1 日頃から山体の膨張と考えられる変化が継続している。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

口永良部島では、噴火は発生しなかったが、火山性地震が時々発生し、火山ガスの放出量が多い状態で経過している。また、夜間に高感度カメラで火映を時々観測したほか、現地調査では、新岳火口の西側割れ目付近の熱異常域内で温度の上昇が認められている。以上のように火山活動の高まりがみられており、今後、爆発力が強い噴火や規模の大きな噴火に移行する可能性がある。新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒が必要である。

西之島では、噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出が継続している。今後も新たに形成された陸地にある火口で噴火活動が継続すると考えられる。また、西之島周辺の海底で噴火が発生する可能性も引き続き考えられ、噴火による影響が海上まで及んだ場合、弾道を描いて飛散する大きな噴石や、水面を高速で広がるベースサージ等の影響が概ね 2 km の範囲に及ぶおそれがあるので、西之島の中心から概ね 4 km 以内では噴火に警戒が必要である。

蔵王山では、7 日以降、御釜付近が震源と推定される火山性地震が増加し、火山性微動が発生するなど火山活動が活発となった。今後、小規模な噴火が発生する可能性があることから、13 日に火口周辺警報を発表し、噴火予報（平常）から火口周辺警報（火口周辺危険）に引き上げた。想定火口域（馬の背カルデラ）から概ね 1.2 km の範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

吾妻山では、大穴火口からの噴気活動がやや活発な状態が継続している。大穴火口から概ね 500 m の範囲では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

草津白根山では、湯釜付近の膨張を示す地殻変動が認められるほか、北側噴気地帯のガス成分にも活動活発化を示す変化がみられている。湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

阿蘇山では、中岳第一火口で、断続的に噴火が発生している。中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

霧島山（新燃岳）では、3 月下旬以降、新燃岳火口直下を震源とする火山性地震がやや増加した。北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2013 年 12 月頃から伸びの傾向がみられていたが、2015 年 1 月頃から停滞している。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、火山性地震が時々発生している。表面現象に異常は見つかっていないが、地震活動が継続しているので、えびの高原の硫黄山から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

諏訪之瀬島の御岳火口では、爆発的噴火が 2 回発生するなど、活発な火山活動が継続した。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

箱根山では、26 日 14 時頃から大涌谷から神山付近の浅い所を震源とする火山性地震が増加している。低周波地震や火山性微動は観測されていない。神奈川県温泉地学研究所の傾斜計による地殻変動観測では、今回の活動に関連するとみられるわずかな変化が観測されている。湯河原鍛冶屋の体積ひずみ計や国土地理院の地殻変動観測では、今回の活動と関連する明瞭な変化はみられていない。現時点では、噴気等の状況に特段の変化はみられず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

**表 1 4 月 30 日現在の火山現象に関する特別警報・警報・予報等の発表状況  
（※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中）**

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	御嶽山、桜島、口永良部島
	入山危険	西之島※
	レベル 2（火口周辺規制）	吾妻山、草津白根山、三宅島、阿蘇山、霧島山（新燃岳）、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	蔵王山、硫黄島※、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福德岡ノ場※
噴火予報	レベル 1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、安達太良山、磐梯山、那須岳、浅間山、新潟焼山、焼岳、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	平常	上記以外の活火山

\*噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。



**図 1 4 月 30 日現在、火山現象に関する特別警報、警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山**